

乳幼児の水分摂取機能発達に関する研究

第3報 発達の観点からの適切な食具選択の検証

○石田 瞭, 大久保真衣, 服部美鈴*, 細谷美穂*, 松原範宜*

(東歯大千葉病院・摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科, *コンビ株式会社・プロダクトセンター)

【目的】

乳幼児期は、離乳を通じて栄養のみならず水分摂取機能の獲得も重要な時期である。その機能獲得過程を食具の使用状況からみた研究は少ないが、臨床経験上は、スプーン、コップなどによるすすり飲みを習得した上で、ストローを活用することが望ましく、その裏付けとなる研究も報告されている¹⁾。本研究はこれに基づき、離乳期を迎えた乳児に対し、機能発達に合わせてスプーン、コップ、ストローの順に水分摂取時のツールとして使用してもらい、発達の観点からみた妥当性を検証することを目的とした。

【対象と方法】

心身共に異常を認めない乳幼児のボランティア14名(男児7名、女児7名)を対象とした。観察開始時の月齢は平均5.1ヶ月(4~7ヶ月)で、概ね児の離乳開始と合致するタイミングとした。観察期間は平成21年6月から平成22年1月までの7ヶ月間で、ほぼ1ヶ月に1回の頻度で経時観察を行った。

観察のために使用したツールは新規開発のスプーンA, B, C、市販のコップ、ストローマグの5種類とした。ツールを表1に示した7stepの順に使用してもらい、全てをクリアした段階で観察終了とした。

表1 観察項目

Step	観察項目
1	スプーンAで初期食を口唇捕捉できた
2	スプーンBで水分を一口すすり飲みできた
3	スプーンCで水分を一口すすり飲みできた
4	スプーンCで水分を連続飲みできた
5	コップで水分を一口すすり飲みできた

6	コップで水分を連続飲みできた
7	ストローで水分をこぼさず飲めた

本研究では、Step5のクリアを「すすり飲み基本動作獲得」とみなし、以降ストローを使用開始した。各児について①Step5クリアまでに要した期間、②Step5からStep7クリアまでに要した期間、を主な検討項目とした。

【結果】

- ① Step5クリアまでに要した期間は、平均4.3カ月(3~6カ月)であった。これ以降、ストロー使用開始したが、ストロー開始時期の月齢は平均9.7カ月(8~12カ月)であった。
- ② Step5からStep7クリアまでに要した期間は、平均2.2カ月(1~4カ月)であった。このうち4カ月を要した児は3名存在したが、いずれもストロー開始後はすすり飲み機能が再度不安定となったことが背景として見られた。

【考察】

本研究でのプロセスは近年の育児とはやや異なる傾向かもしれない。すすり飲み機能獲得までには、しかるべく月数を要することは確認できた。一方、ストローでの水分摂取機能獲得までの期間は、先行研究¹⁾に比較して長い結果となったが、ストローの口内への入り具合など、より厳密な評価を行ったためと考える。むしろ、ストロー使用開始の月齢が早いと、比較的ストローでの水分摂取機能獲得までの期間が長い傾向であったことが興味深い結果であった。

Step7クリアに期間を要した児は、スプーンやコップ飲みによるすすり飲み機能の習熟不足もみられた。従って、本研究のステップですすり飲みをしっかりと行かせた上で、ストローに移行することの妥当性は確認することができたと考える。

【文献】

- 1) 石田 瞭, 他: 乳幼児の水分摂取機能発達に関する研究(第1報) 発達の観点からの適切な食具の選択について. 小歯誌47(2). 408, 2009